

## 平成 30 年度 事業報告

当協議会の存立の基盤は、地域で活動するひとり親の会（地区会）の活動であり、協議会は各地区会を支えるとともに、地区会との結びつきを一層強めることが、近年重要な課題となっている。このため、平成 30 年度は、地区会長会を前年度に引き続き開催し、東京ムーブ活動を各地区会とともに実施するなど、地区会との協働を重点課題として積極的に取り組んだ。加えて、全国母子寡婦福祉団体協議会の大会、関東ブロック大会などにも、地区会代表者とともに参加し、全国の加盟団体との情報交換、親睦交流を深めた。

他方、平成 30 年度は企業によるひとり親家庭支援が社会貢献活動として拡がりをみせた一年でもあった。りそな財団による「ひとり親キャリア支援プログラム」が本格的に実施されたほか、新規にバスツアーなどの多様なイベント活動が行われる中、協議会もこうした動きを積極的に受け止め支援を行った。

また、東京都からの委託による東京都ひとり親家庭支援センター事業については、事業計画に基づき着実に実施し、ひとり親家庭母子父子の相談窓口においては、個別事情に配慮しながら丁寧に対応することにより、所定の成果をあげることができた。

### I 実施事業等

#### 1 ひとり親家庭支援センター事業（東京都委託事業）

東京都が厚生労働省の実施要綱に基づき行う「東京都母子家庭等就業・自立支援センター事業」として、ひとり親家庭等に対する就業支援、各種相談事業を実施した。

※（ ）内は前年度数値

##### （1）就業支援事業

###### ア 就業相談

相談者が主体的に課題解決や求職活動ができるよう、専門の就業相談員による電話や面接による相談を行った。面接は予約制により、相談は年末年始を除いて受け付けた。

面接相談 708 人（616 人）、件数 1,000 件（792 件）

電話相談 3,419 人（3,424 人）、件数 5,935 件（4,057 件）

###### イ 就業促進活動

ひとり親家庭の母子・父子の就業を促進するため、次の事業に取り組んだ。

- 〔求人事業所への助成金支給〕求人事業所に対して特定就職困難者雇用開発助成金の説明をし、ひとり親の就業への協力を依頼した。

- 〔定着支援〕個別事情に配慮して、就業後においても必要に応じて定着支援を行った。
- 〔起業相談〕起業による自立を支援する相談を実施した。  
14名（11名）
- 〔適職診断〕自己理解を促し、就業につなげるため行った。76名（88名）
- 〔就活メイク〕就職活動のための個別メイクレッスンを行い、就業に結びつけた。39名（34名）
- 〔就業支援講習会〕就業に必要な知識技能としてパソコン操作の基礎、応用、ワード、エクセルの基本操作等についての3日間（18時間）の講習会を開催した。10回（10回）、150人（168人）

#### ウ 就職情報提供

求人情報やキャリアアップのための職業訓練、行政機関の支援制度等の情報を面談時、ホームページ、メールマガジン等で提供した。

メールマガジン配信数 月1回、3月の配信数 2,417通（2,080通）

#### エ 求人、求職、就業実績数

①求人 220件（403件）、818人（1,040人）

②就業実績数 122人（130人）

③求職登録者数 306人（294人）

### （2）生活相談事業

仕事や育児に追われ様々な問題を抱えながら、身近な相談相手を必要とするひとり親家庭の親などに対し、相談を実施した。

来所 214件（155件）、電話 3,306件（3,294件）

### （3）離婚前後の法律相談

子どもがいる母親または父親を対象に、弁護士による離婚前後の法律相談を行った。さかきばら法律事務所榎原富士子弁護士との委託契約により家事事件に精通した弁護士が当たった。

実施日数 72日、実施時間 216時間、相談人数 199人（190人）

キャンセル待ち 272人【キャンセル待ち対応 108人、未対応 164人】

相談内容 離婚・親権・婚姻費用 292件（272件）、

養育費の増額、減額 149件（129件）、財産分与 120件（95件）など

### （4）養育費相談事業

①一般相談 離婚後の子供の養育費相談 505人（165人）、1,173件（421件）

②専門相談 専門相談員予約制 96日、180人（158人）、489件（482件）

#### （5）面会交流支援事業

離婚後（離婚成立前も含む）の親と子の面会交流を希望し、双方の合意がある場合に、面会交流支援を実施した。専門機関である公益社団法人家庭問題情報センターに委託した。

相談件数 1,169件（1,155件）、交流実施家族 38家族（39家族）

#### （6）相談支援員研修会

都内の行政機関でひとり親家庭などへの相談支援に携わっている母子・父子自立支援員、子ども家庭支援センター相談員、母子生活支援施設職員、就業支援機関相談員、民生・児童委員、ひとり親家庭支援団体担当者などを対象に必要な知識技術を習得できる研修会を実施し、相談支援機関の連携を図った。

年間 計10回開催、受講者 398名（392名）

## 2 公益目的事業

※（ ）内は前年度数値

### （1）「ひとり親相談の家」電話相談事業

地区会等の役員が同じひとり親の経験を踏まえて相談に応じるピアカウンセリングとして、祝日・年末年始を除く毎月第1・第3土曜日、交代で電話相談を受け付けた。 相談件数 18件（37件）

### （2）連絡提携事業

地区のひとり親の会（地区会）との情報交換、交流、地区会相互の交流等を図った。また、都道府県の母子寡婦等福祉団体が加入している一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会（全母子協）及び各県、政令市の母子寡婦等福祉団体との連携を図った。

（当法人に登録している地区会のある区市 23区市）

千代田区、中央区、台東区、墨田区、大田区、渋谷区、中野区、杉並区、荒川区、葛飾区、練馬区（11区）

三鷹市、青梅市、町田市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、福生市、東大和市、多摩市、西東京市、羽村市（12市）

① 地区会の会長会を開催し、当法人からの情報提供と意見交換に努めた。

② 9/24 関東地区母子寡婦福祉研修大会（茨城県水戸市で開催） 35名参加

11/4 全国母子寡婦福祉研修大会（岡山県岡山市で開催） 3名参加

※参加費を助成

(3) 東京ムーヴ事業

ひとり親家庭の親子が集い、母と子、父と子の交流事業、体験活動、レクリエーション、語り合い、学び合い、情報交換のできる場を設け、「経験格差」を解消するとともに、「共生力」を養うことを目的に実施した。それぞれの行事の実施に当たって、公益団体、地区会、ボランティアの助力を受けた。

(実施行事)

	行事名	日程	参加者数
①	絆キャンプ 自然体験教室 in 白樺高原 (飯田橋集合)	6月9日(土)～ 6月10日(日)	こども35人 (33人)
②	海は友達マリンスポーツ体験会 in 葉山 葉山町一色海岸(飯田橋集合) (公財)B&G財団との共催事業	7月21日(土)	19家族38人 (2回86人)
③	三菱商事 母と子の自然教室 新潟県南魚沼市	7月21日(土)～ 23日(月)	12家族15人 (21人)
④	活樹祭～親子森林教室 in 小菅村2018 山梨県小菅村(立川集合) NPO 法人樹木・環境ネットワーク	8月27日(月)～ 28日(火)	10家族20人 【新規】
⑤	川は友達川下り体験会 in 青梅 青梅市釜の淵公園(青梅駅集合) (公財)B&G財団との共催事業	9月1日(土)	11家族25人 【新規】
⑥	絆キャンプ 自然体験教室 in 白樺高原 (立川集合)	9月16日(日)～ 9月17日(月)	こども29人 (29人)
⑦	ひとり親家庭のためのお泊り会第1弾 東京セントラルユースホテル 日本ユースホテル協会との共催	10月20日(土)～ 21日(日)	8家族17人 (15人)
⑧	親子で楽しむ秋のポニー乗馬体験 取手市小貝川ポニー牧場(上野集合) (公財)ハーモニィセンター・ (一財)日本ユースホテル協会と共催	11月3日(土)	15家族34名 【新規】
⑨	マツダロードスター東京サンタドライブ 2018(マツダ本社集合) マツダ(株)との協力事業	11月25日(土)	54家族120人 (45人)

( )内は前年度数値

⑩	ひとり親家庭のためのお泊り会第 2 弾 東京セントラルユースホステル (一財)日本ユースホステル協会との共催	12月8日(土)～ 9日(日)	9家族 21人 (31人)
⑪	お楽しみ会 東京セントラルユースホステル	12月15日(土)	22家族 49人 (59人)

(招待イベント)

	イベント名	日程	参加者数
①	埼玉西武ライオンズ 試合観戦ご招待(秋山選手)	4月29日(日)	5家族 10人
		5月13日(日)	6家族 14人
		6月17日(日)	6家族 13人
		9月 9日(日)	6家族 15人
		合計	23家族 52人 (58人)
②	日本舞踊「ゆう」観劇ご招待(藤川澄十郎)	10月16日(火)	3家族 6人(新規)
③	国際親善交流特別演奏会 (日本音楽文化交流協会)	10月17日(水)	31家族 89人(新規)
④	ふれあいトリオコンサート (Kトレーディング株式会社)	12月16日(日)	26家族 61人(37人)
⑤	新春浅草歌舞伎(松竹)	1月17日(水)	41名(39人)
⑥	第71回定期演奏会(日本音楽文化交流会)	3月26日(火)	8家族 18名 (47人)

## II その他の事業

※ ( ) 内は前年度数値

### 1 セミナー「看護師への道」

求人需要が高く、安定した収入が望める看護師・准看護師の仕事を紹介し、看護学校進学のための対策、看護学生や看護師として働いているひとり親の先輩の体験発表を行う講座を開催した。4月14日実施 受講者 23名(30名)

### 2 企業の社会貢献活動に対する支援

(1) 「夢を応援基金」奨学金制度 (ローソン、全母子協)

全国母子寡婦福祉団体協議会（全母子協）が株式会社ローソンから資金提供を受けて運営する「夢を応援基金」奨学金制度について、当協議会が加盟団体として奨学生の募集、選考、推薦事務を行い、都内の希望する者に奨学金を給付する事業を前年度に引き続き実施した。

都内の中学3年生から高校3年生19名に対して卒業まで最長4年間、月3万円の奨学金を給付。（平成29年7月開始）

(2) ひとり親キャリア支援プログラム（りそな未来財団）【新規】

選考によりひとり親世帯12世帯が参加。平成30年1月から平成31年3月まで就労アドバイザーによる個別相談を行い、平成30年度に期間中の資格取得の費用、託児サービス、子供の学習支援にかかる費用に対する支援を行った。

12世帯、各世帯上限40万円

(3) 未来につながる環境教室【新規】

8月14日(火)～17日(金) 3家族6名

(台風のため催行中止により、3月27日(水)～30日(土)に実施した。)

主催：公益財団法人ノエビアグリーン財団

(4) マリンスポーツ体験会

8月2日(木)、8月3日(金) 参加者のべ40名(86名)

主催：公益財団法人B&G財団

(5) 「学習&マリンスポーツ体験」教室【新規】

7月25日、27日、29日 8月5日、7日、9日 参加者のべ44名

主催：公益財団法人B&G財団

(6) りそなDAYキャンプ2018 わくわく洞窟探検&ぶどう狩りバスツアー

8月5日(日) 18家族39名

主催：公益財団法人りそな未来財団

(7) 子どもわくわく自然体験キャンプ【新規】

8月9日(木)～11日(土) 子ども41名

主催：公益財団法人修養団(SYD)

(8) 成田空港見学ツアー【新規】

3月16日(土) 16家族35名

主催：JAIFA ソニー東京

### 3 収益事業

法人の自主財源となる収益を確保し、事業運営の経費に充てるため、母子及び父子並びに寡婦福祉法に定める母子・父子福祉団体として公共施設等に自動販売機を設置し運営する事業を行った。

- 自動販売機設置 69台 37施設 (H31.3.31現在)
- 設置場所 東京都の庁舎、事業所、施設、民間企業・団体
- 設置に支援・協力いただいている団体、企業等  
東京都、公益財団法人東京都保健医療公社、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター、一般財団法人東京都中央卸売市場環境整備協会、生活協同組合パルシステム東京

### Ⅲ 機関運営その他

#### 1 評議員会(2回開催)書面決議(1回)

- ①書面決議 5月26日 評議員の選任
- ②第1回 6月24日 (定時評議員会)決算書類の承認
- ③第2回 3月24日 平成31年度事業計画及び収支予算について

#### 2 理事会(3回開催)書面決議(1回)

- ①書面決議 5月11日 評議員会での評議員選任の議決を求める決定
- ②第1回 6月2日 平成29年度事業報告及び決算の承認
- ③第2回 1月20日 職員就業規則の改正
- ④第3回 3月9日 平成31年度事業計画及び収支予算他

#### 3 平成30年度東京都予算等への要望活動

東京都に、以下の5項目を要望した。(9月20日)

- (1)ひとり親家庭に対する経済的支援の拡充について  
(児童扶養手当、児童育成手当の大学、専修学校等卒業までの継続)
- (2)ひとり親家庭が安心して暮らせる住まいの確保について  
(都営住宅優先入居条件の改善、家賃及び敷金に対する助成)
- (3)ひとり親家庭の子育てに対する支援について  
(保育所、学童クラブの優先入居、病時病後児保育施設の増設)
- (4)ひとり親家庭の母子・父子の相談窓口の拡充について  
(市区町村等の相談窓口でのひとり親施策の十分な周知、利用時間の拡大)  
(専門家による相談、面会交流支援等の拡充)  
(区市のひとり親の会に対する区市の協力、支援、助成)
- (5)公共的施設等における自動販売機の設置拡大について  
(ひとり親家庭福祉協議会が設置する自動販売機の設置台数の維持、拡大)  
(区市のひとり親の会の設置運営が認められるよう働きかけること)  
(民間業者に協議会及び地区会の設置運営を認めるよう働きかけること)

#### 4 シンポジウム開催の後援

4月20日開催のシンポジウム「ひとり親をめぐる現状と施策」（朝日新聞厚生文化事業団主催 於：有楽町朝日ホール）を後援し、協議会 HP にシンポジウム開催を掲載するとともに、地区会に周知した。

#### 5 広報活動

- ひとり親家庭福祉協議会ウェブサイト <https://www.tobokyou.net/>  
法人が開催する行事の案内、企業等が開催するイベントの募集等、随時更新して広く情報提供した。